

NEWSLETTER

No022520

先週 1/31~2/3 以来のリバースが発生しました。

“リバース”は正式には Reverse Structural Change (「逆構造的変化」)です。数学的/物理学的概念です。これは構造上必ず元に戻りますが、事業(ナンバーオペレーション)を継続する上でそれを甘くみないでください。バリューチェーンの数字(バリュー)において”ミスバリュエーション”(=“mis-valuation)が発生し易くなります。一時的にシステムが壊れているのではないかという印象を与えるようなノイズ(本来の数値/価値からの乖離)が発生するのです。ハンドの評価にはミスバリュエーションは考慮されません。ハンドの内容によっては大きなストレスを抱えることになる恐れがあります。⇒ CAF (利用できるキャパシティ) が大幅に減る可能性があります。

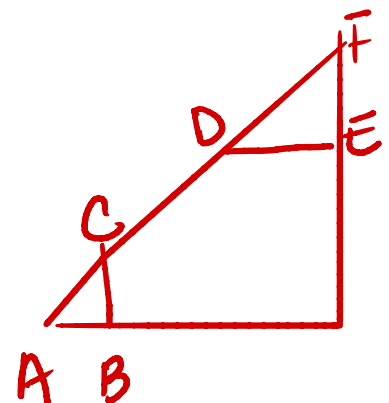
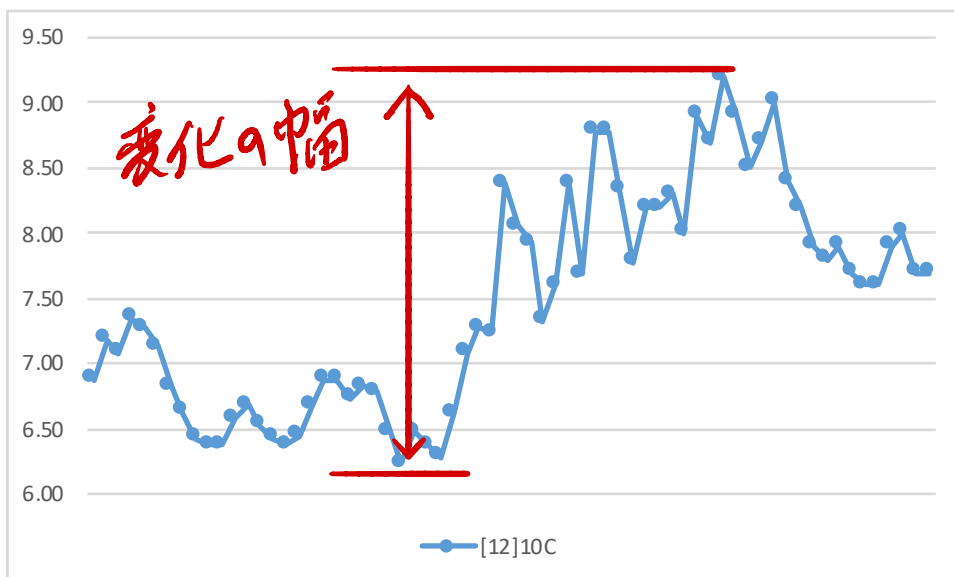
そのようなミスバリュエーションは△ABC 関連の数値/価値に発生し易いのです。△ABC 関連のハンドへの過度の集中を避けるように警告したのはそのためです。

△ABC 関連のハンドはとてもエキサイティングです。一方、△DEF 関連のハンドに地味です。「そんな地味なハンドで生活できるのだろうか。」

地味なハンドほど“職人の腕の見せ所”です。

それ以前に数字がどのように変化しているのか……見てみましょう。

以下に掲げた 3 つの図は[12](2019 年)、[01](2020 年)、[02](2020 年)がそれぞれ F6→F4 だった時期の 10C のバリューの日々の変化の推移を描いたものです。



F6 → F4